

くらしの知恵袋

振り込め詐欺にご用心

身内を思う優しい気持ちに付け込む『振り込め詐欺』。その手口は、巧妙化し、被害は増え続けています。被害に遭われたという報道を見るたびに「これだけ騒がれているのに、だまされるなんて」と思われる方も多いと思います。

こうしたトラブルを防ぐために市内のある方の体験を紹介します。

巧妙になる手口

20時30分、「もしもしオレだけど」と電話があり、対応した妻が娘婿の声に似ていたので思わず名前を言った。「相談があるので5日後遊びに行ってもいいかい」と言うので承諾し夫に伝えた。翌日11時ころ、再び電話があり「遊びに行けなくなった」「どうした？」「株に手を出してしまい昼までに100万円が必要。心当たりをお願いしたがだめだった」「現金はないけど貯金なら。送つたらいいの？」、「口座と携帯電話の番号を教えるから」などのやりとりの後、夫婦で相談し送金することを伝えると、金額が150万円に増えた。銀行に行き定期預金を解約後、



不審に思った銀行員に「振り込め詐欺ではないですか」と確認されたが「間違いない」と答えた。すると、見かねた銀行員が、携帯に電話を掛けて娘婿の知人の名前を告げ「知っているなら名字を言ってみろ」と言うと、相手が何も答えられず振り込め詐欺だと気づいた。

この方は、親身になって対応してくれた銀行員に「感謝しています」と話していました。

被害に遭わないように日ごろから次のことを心掛けましょう

- ・自分から知り合いの名前を言わない。
 - ・連絡先を確認し一度電話を切る。
 - ・必ず本人に連絡し事実確認する。
 - ・口止めしたり急がせたりする場合は、必ず誰かに相談する。
- 問い合わせ 市民サービスグループ (☎851855)

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

幌別小学校図書室ボランティア



本を通した子どもたちとの触れ合いがとっても楽しいです

『幌別小学校図書室ボランティア』は、平成7年から幌別小学校図書室で本整理のお手伝いをボランティアでしていた合田すみ子さんが中心になり、平成12年に結成されました。

現在、会員は幌別小学校に通う子どもを持つお母さん7人。月曜日から金曜日までの9時から11時まで、本の貸し出しや返却、整理などを行っています。会員が少ないため、3月に卒業された児童のお母さんたちも応援に駆けつけています。

本の貸し出し数は、平成12年度から始まった『朝の10分間読書』やボランティアの活動により年々増え、今では1日に200冊を超えることもあるそうです。

「本の貸し出しなどを通して子どもとのふれあいで、子どもが今何に興味を持っているのかが分かり、子どもとの会話がとっても楽しいですよ。本の修理を行っているお母さんたちの姿を見て、子どもたちも物を大切にすることを覚えました。自分の子どもが通っている学校と一緒にボランティアをしてみませんか」と参加を呼び掛けるのは代表の林しおりさん。



サークル結成当時から活動している佐々木泰子さんは「雨の日は子どもたちで図書室がいっぱいになるんですよ。お母さん方がいると安心して図書室に来れるんですね。市立図書館で行っている読書感想文コンクールで、幌別小学校の子どもの名前がでるととっても嬉しいです」と笑顔で話してくれました。

入会を希望される方は、林さん (☎850071) までどうぞ。